

令和8年1月17日

第4回役員会

1 支部長挨拶

2 報告事項

- (1) 支部会員の状況について
- (2) 講習会支援について
- (3) ZOOMによるモールス講習会について
- (4) 蔦屋イベントについて
- (5) その他

3 協議事項

- (1) 北海道新幹線開業10周年事業について
- (2) 令和8年度の事業について
- (3) 令和8年度の会計について
- (4) JARL100周年に係る取り組みについて
- (5) コンテストについて

4 その他

- (1) 選挙について

支部会員の状況について

	2024/09(人)	2025/09(人)	増減(人)	増減率(%)
上川宗谷支部	289	272	-17	94.1
空知留萌支部	224	212	-12	94.6
オホーツク支部	191	176	-15	92.1
石狩後志支部	1404	1366	-38	97.3
十勝支部	244	241	-3	98.8
釧路根室支部	133	129	-4	97.0
胆振日高支部	250	249	-1	99.6
渡島檜山支部	217	204	-13	94.0

このように、渡島檜山支部は減少率が非常に高い状況となっている。

令和8年1月17日

< J H 8 C B H >

講習会への支援について

8月10日、17日 四アマ講習会 亀田商工会 2階

無線工学 JH8CBH 法規 JK8TYW 管理者 JJ8KTT

38名受験全員合格

2名元気に声を出しています。

10月5日 三アマ講習会 亀田商工会 1階に変更

無線工学 JK8TYW 法規(モールスを含む) JH8CBH 管理者 JJ8KTT

11名受験全員合格 1名は8月の四アマ受講者

1名が元気に声を出しております。

次回は、令和8年春に、四アマ講習会、その後三アマを予定しております。

小野田さんのデビュー戦になります。

真夏のエアコンなしの会場について、受講者から多くの意見をいただきました。カードを使った受講者のフォローは評価いただきました。

令和8年1月17日

< J H 8 C B H >

ZOOM によるモールス講習会について

1月1日から、毎晩20時よりZOOMによる講習会を実施している。

本年度の受講者は14名で、休みが少なく、熱心に勉強されています。

今は、アルファベットをすべて指導し、その26文字をランダムに、6秒間隔で打っている。打ち終わって解答している。一日5問ずつである。

毎日の講習の様子を音声アップしている。復習などに使ってもらっている。

<https://edu-hakodate.jp/sasaki/jh8cbh/2026cw/index.html>

今行っているゆっくりでも26文字が取れるまでの段階が受講者にとっては、一番苦勞が大きい段階ではあるが、ゆっくり丁寧に指導していきたい。

来週、2月、3月に講習後、個人面談を実施し、学習状況を把握し、個人指導、指導計画の修正などを図っていきたい。

2月末から3月に向けての7メガデビューをひな鳥が巣から旅立つときと考え、その時が来るのを、応援するよう講習を続けたい。

2026年1月11日(日)のイベントについて、JH8NNW中澤
隆行様 ありがとうございます。御座います。今年もどうぞ宜しくお願い致
します。私はJH8NNW 中澤 隆行と申します。
今日は 前日2026年1月11日(日)に石川町の葛屋書店2階ホールにマ
マチエ無線の散歩道 電気の世界をのぞいてみようというイベント
のタイトルで行いました。イベントに際しては沢山のスタッフの皆様
の暖かい力ごえを頂きまして有り難う御座いました。おかげさまでイベント
を朝10時00分午後3時00分までの5時間に関わり無事修了する事が出来
ました。これにスタッフの皆様のお力ごえがあったからです本当にありが
とう御座います。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
当日のスタッフは19名で他1名計20名でした。

イベントのアレケートについて。アンケートは全部で15名分です。
1) 電気の散歩道、 15人中 14名が〇でした。...良かったですね。
2) ミニ講演、 15人中 4名が〇でした。...良かったですね。
3) ゲーム(3回やりました) 15人中 4名が〇でした。...
4) 体験運用(交信)は15名の方が行われました。その内2名は遠い所
はホノルルとの交信がありました。良かったですね。他は国内局でした。
5) 無線機の展示等 15人中 1名が〇でした。...少し物足りないか。
6. スタッフとのコミュニケーション 15人中 2名が〇でした。
7. その他 15人中 2名が〇でした。
一言メッセージ 15名中 15名の方が書いてくれました。
以上です。〇の少ない部分は次の時の反省課題とします。
ありがとうございます。 JH8NNW中澤隆行

令和 8 年 1 月 17 日

<JH8CBH>

北海道新幹線開業 10 周年記念特別局の運営について

1 目的

- (1)我々アマチュア無線家が北海道新幹線の開業 10 周年を全国・全世界に発信し、その喜びを分かち合う。また、北海道新幹線の早期の札幌延伸を願う機運を高める機会の一つとしたい。
- (2)特別局の運用により、支部及び全国各局のアクティビティーを高める機会とする。また、多くの局と交信することにより、通信技術を向上させる機会とする。
- (3)公開運用を通して、地元の方々に、アマチュア無線の楽しさ、醍醐味を PR する機会とする。
- (4)体験運用を通して、電波を通して遠くに暮らすアマチュア局と、通信ができる楽しさを味わい、アマチュア無線に興味を持ってもらう機会とする。

2 北海道新幹線について

北海道新幹線（新青森～新函館北斗）が 2016（平成 28）年 3 月 26 日開業した。この路線は、JR 北海道が運営を担っている。従前まで、青森まで在来線を利用し、新青森から乗り換えて東京方面へ向かっていたが、この路線の開通により、北海道と東京が新幹線より直通で結ばれることになった。

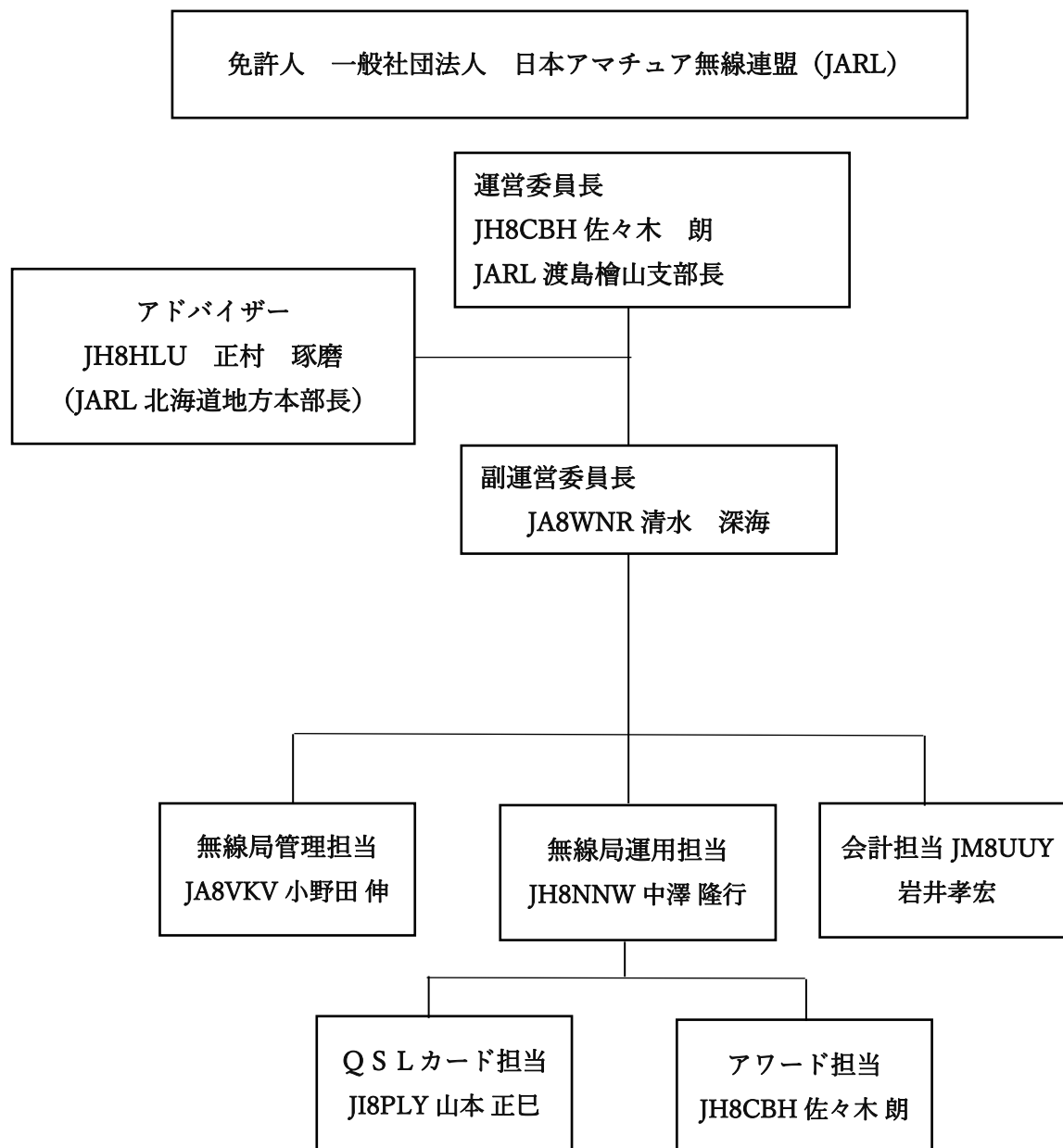
また、北海道新幹線は、札幌延伸に向けて工事が急ピッチで進められている。当初は 2030 年の開通を予定していたが、途中のトンネル工事の難航などの原因により、開通時期は未定となっている。

3 記念局の概要

- (1)正式名称 北海道新幹線開業 10 周年記念事業
- (2)呼出符号 8J8H5K（車体の H 5 系にちなんで）
- (3)常置場所 北海道函館市銭亀町 2 1 0－1 3
- (4)免許の種類 移動する局 最大空中線電力 50W 1.9MHz～430MHz）まで
- (5)使用無線機 JH8ZRL の機器を利用する。
- (6)運用場所 渡島檜山支部及び青森県支部

4 期間 令和 8 年 1 月 17 日（土）～令和 8 年 3 月 31 日（火）

5 運用委員会組織図



- (1) 運営委員長は、特別局の運営全般（含む体験局運用）を統括、管理します。
- (2) 事務局は、運営全般の企画・調整を行います。
- (3) アドバイザーは、特別局の運営全般について助言を行います。
- (4) 無線局管理担当は無線局の免許状及び無線設備の管理を行います。
- (5) 無線局運用担当は特別局の運営計画を統括し、円滑な運用を実行するとともに、安全管理を行います。
- (6) 会計担当は予算管理を適正に行います。
- (7) QSL カード担当は、QSL の発行・管理を行います。

6 運用上のお願い

(1)運用場所についてのお願い

運用場所は、渡島檜山支部及び青森県支部とします（青森県支部とは連携を取っております）持ち回り運用については希望者が少ない状況にあるかと思います。望洋塾での運用、また、個人宅での積極的な運用を期待します。

(2)運用場所についてのお願い2

北海道新幹線の停車する駅がある北斗市、木古内町、青森県の今別町、青森市は、アワードの関係で注目されます。特別局の運用にも配慮しますが、一般局の運用もPRしていきます。

(3)公開運用のお願い

運用日程にもありますが、3月7日(土)8日(日)木古内町、3月14日(土)、15日(日)北斗市で公開運用、3月20日(金・祝)は木古内町、21日(土)、22日(日)は北斗市でそれぞれ駅前イベントで公開運用を予定しております。青森県の公開運用については、調整中です。

(4)リモートでの運用

アワードの関係で北斗市や木古内町での運用が期待されるが、頻繁な運用が難しいことを想定し、その地域のアマチュア局のアンテナを借り、特別局の無線機を設置し、インターネット回線を通して遠隔での操作を研究しているところです。めどが付きましたら、変更申請、また、該当する地域のアマチュア局に協力を依頼していきたいと思えます。

7 運用上の留意点（各支部長から運用者に指示する）

(1)局の管理・運用について

- ① 局の運用時は、無線従事者免許証を携帯していること。
- ② 無線機の操作は、各無線従事者の操作範囲内とすること。
- ③ 運用に当たっては、オペレータ、QTHなど適宜送出すること。特にゲストオペの場合そのことを明確にすること。
- ④ コンテストへの参加はできるが、書類を提出する場合はチェックログとすること。
- ⑤ 特別局は相手局のカードを必要としないので、そのことを適宜送出すること。
- ⑥ 特別局の免許を受けた無線機を利用すること。
- ⑦ コールサインは、エイト・ジェイ・エイト・ホテル・ファイブ・キロ、「8J8えいち・ご・けい」と言わないこと。「こちらは」や「DE」をつけること。お手本となるような交信をお願いする。
- ⑧ コールサインには/8（ポータブル8）を付けないこと。送出しないこと。（北海道地方本部ルール）呼出応答に際しては、『こちらは8J8H5K／（ポータブル）〇〇市』または、『こちらは8J8H5K／（ポータブル）〇〇市移動』『こちらは8J8H5K〇〇

市移動』等

ただし、今回については、北海道と青森県をまたぐ運用となり、電信については、北海道地方本部長と相談の上「/7」もありとする。

- ⑨カードのダイレクト希望があった場合、QSL 担当 JI8PLY 山本さんに封筒（SASE）で依頼すること。住所は局名録参照。以前の特別局では 0 件
- ⑩ FT8 の場合は、コールサインが長い場合 GL を省略して運用すること。（北海道地方本部で申し合わせ）適宜、JCC,JCC 及びハンドルネームなどを送信する。QTH 未送信のクレームが多く来ます。
- ⑪その他、不明点は自分で判断せず、運用責任者に尋ねること。
- ⑫電波法を順守すること。
- ⑬運用上、その他トラブルが起きた場合は、大小にかかわらず、直ちに運用委員長（JH8CBH）へ電話連絡(090-8277-9744)すること。対応が必要な件は、北海道地方本部長と相談の上、指示する。悪いことほど早く連絡をしてほしい。
- ⑭個人の無線機で記念局を運用しないこと。

(2) ログの記入について（各支部長から運用者に指示する）

① ハムログでログを管理する。

万が一に備えて、通信を録音しておくとか、紙にも書くとか、二重の体制をとること。

また、ハムログで管理できない場合は、特別局用の運用シートに手書きで記入し、その日の責任者がハムログへ入力すること。

② ハムログの設定

- ・新規コールでのインストール オプション→データの保守→別コールサイン用にインストール→OK→8J8H5K→OK→OK。これでハムログを閉じる。
- ・新規ハムログの立ち上げ デスクトップにある 8J8H5K を立ち上げる。→はい(Y)。これでデータなしのハムログが立ち上がる。（ユーザーリストや免許状 GETS など適宜）
- ・新規ハムログの設定 オプション→環境設定→設定 2

Remarks1 に %JCG#01021B Kikonai town(上磯郡木古内町) GL:QN01CJ%

Remarks2 に %JA8WNR%

※漢字以外は全て半角（スペースも）。OP はつけない。

上記は例です JCC, GL, CALL は各自で入れる事

③データの保存について（次の 2 つで行うこと）

- ・ファイル→QSO データのバックアップ→フォルダでフォルダを指定→QSO データをコピーする→開始 指定したフォルダにバックアップデータが入っている。HAMLOG.hdb が作られる。

・検索→複合条件検索と印刷→先頭から検索・入力順・CSV ファイルにチェック。検索無し。HAMLOG フォルダに LOGLIST.csv が作られる。

④作成された HAMLOG.hdb 及び LOGLIST.csv を管理者にその日のうちに、メールで送信する。QSL の印刷完了（責任者より指示）があるまで、データは消去しないこと。メール送信ができない場合は、責任者の指示を受けること。

⑤わからなくなったら電源を落とさず、そのままにして責任者に連絡すること。

(3) データの受け渡しについて

①各支部は、各運用者から、ハムログデータを集約し、一つのファイルに結合する。

②フォーマットに間違いがないか点検する。特に半角全角、余計なスペース。

8 アワード

(1)アワードのルール

① 名称 北海道新幹線開業 10 周年記念アワード

② 有効交信期間 令和 8 年 1 月 17 日から 3 月 31 日までの交信

③ アワードの要件 上記 S,A,B,C（特記はありません）

S 賞：北海道新幹線の駅の所在する 4 市町を全て特別局で交信

A 賞：北海道新幹線の駅の所在する 4 つの市町及び特別局と 2 回交信

B 賞：北海道新幹線の駅の所在する 2 つの市町及び特別局と 2 回交信

C 賞：特別局と 2 回交信

特別局と交信 2 回とは、青森県支部内と渡島檜山支部内で運用する局の双方と交信

④ 条件等 ①運用場所、移動範囲は制限なし、②モード、バンドの制限なし、③申請は自己申告（カード不要）④申請は国内のアマチュア局とします。

⑤ 締め切り 令和 8 年 4 月 30 日

⑥ 申請 ①渡島檜山支部のホームページから直接 <https://ohs.hokkaido.jp/>

②所定の用紙裏の申請書にて郵送

⑦ 発送方法 ①ダウンロード（無料）②郵送（有料 300 円）

郵送料は下記口座に振り込みをお願いします。切手や為替などは事故の元ですので避けるようお願いします。

ゆうちょ銀行 九四八店 普通 447324(記号番号 19450-4473241) 佐々木 朗

⑧ 照会先 佐々木 朗(jh8cbh@jarl.com 090-8277-9744

縄文アワード並に考えている。縄文アワードは 900 件近くの申請がありました。

(2) 申請は、一覧表にし、特に郵送の場合の振り込みのチェックは確実にする。PDF については、届いたか確認のメールをもらう。前回の例で言うと送っても「届いていない。」という例が複数あった。

(3)予算決算

予算としては、紙代、インク代、送料、封筒代などがかかるが、概ね郵送の一申請

300 円の中で賄え、若干黒字になることが見込まれる。余剰金が出た場合は、QSL やアワードのデザインをしてくださった方への謝礼としたい。

(4) P R

ポスター、チラシについては、ハムショップに掲載、常備する。また、支部ホームページ、J N、C Q誌などにも依頼する。

9 リグの受け渡し

- (1)リグを受け取ったら必ず、備え付けられている物をチェックリストでチェックすること。また、同様にリグを引き継ぐ時もチェックすること。
- (2)次の方に確実に引き継ぐまで、その日の運用者が受け渡しに責任を持つこと。できるだけ、前日の夜までに引き継ぐこと。
- (3)受け渡しについては、その日運用する方が、事前に次の方と連絡を取り、どのように受け渡すか（持っていく、取りに来てもらう、中間地点で渡す、送る）などを明確にすること。連絡先がわからなければ、責任者に尋ねること。送料がかかった場合は運営委員会で対応するが、それ以外の輸送費は個人持ちとする。

10 Q S Lについて

(1)カードの枚数

ざっくりとした数字であるが、1 万枚としたい。縄文特別局並、1 カード 5 Q S O の印刷の工夫をしていきます。運用中に作成し、公開運用などで、P R に配っていきたいと思います。

(2)カードのデザイン

Q S L 担当と協議。

(3)カードの印刷

全て支部で対応します。5 Q S O、北海道新幹線開業 10 周年の説明などを入れたフォーマットを作成します。

(4)カードの価格

10000 枚で 13000 円程度というところもあるようです。不足が予想される場合は追加で注文も考えます。

11 予算・決算について

(1)支出として考えられるもの

・カード	15000 円
・事務費	3000 円
・通信費	3000 円
・公開運用諸経費	5000 円

・その他 4000 円

合計 30000 円で申請したが、

このほかにリモートソフト 8000 円、移動運用などの諸経費 10000 円

カード印刷費 5000 円 予備費 7000 円程度見込み

修正案として 6 万円の収入を見込みたい。

(2)収入（寄付）

・個人 一口 1000 円×60 口 60000 円

(3)寄付の集金方法

電話・メールなどで連絡を取り、支部役員で手分けして、原則現金でいただく。無線上での寄付依頼はさける。寄付した方は支部役員で共有するが、他言しない。寄付は随時申し受ける。

(4)決算

決算は寄付してくださった方に報告する。赤字になる場合は、支部役員を含めて再度寄付を募る。余剰金が出た場合は、支部へ繰り入れ、また、見えないところがかかった部分の補填をし、最終的に収支 0 円決算としたい。

運用日程

	1 月		2 月		3 月	
1	木		日	持ち回り（支部管内）	日	持ち回り（木古内）
2	金		月	機器移動日	月	
3	土		火	持ち回り（青森県）	火	
4	日		水		水	
5	月		木		木	
6	火		金		金	
7	水		土		土	★木古内町公開運用
8	木		日		日	★木古内町公開運用
9	金		月		月	持ち回り（木古内町）
10	土		火		火	
11	日		水	今別町移動運用	水	
12	月		木		木	
13	火		金		金	
14	水		土	青森市公開運用	土	北斗市高齢者C
15	木		日	青森市公開運用	日	北斗市高齢者C
16	金		月		月	持ち回り（北斗市）
17	土	開局式(函館市)	火		火	
18	日	持ち回り（支部管内）	水		水	
19	月		木		木	
20	火		金		金	★木古内町公開運用
21	水		土	今別町移動運用	土	★北斗市公開運用
22	木		日	今別町移動運用	日	★北斗市公開運用
23	金		月		月	予備日
24	土		火		火	
25	日		水		水	
26	月		木		木	
27	火		金	機器移動日	金	
28	水		土	持ち回り（木古内町）	土	
29	木				日	
30	金				月	
31	土				火	閉局セレモニー

赤字は運用責任者

令和8年度 渡島檜山支部事業計画案

年	月	日	行事名称	記事
8	4	4	定期ロールコール	
8	4	5	第1回役員会	
8	5	3	定期ロールコール	
8	5	10	第24回津軽海峡コンテスト～11	
8	6	6	定期ロールコール	
8	6	14	フォックスハンティング大会・懇親会	
8	7	4	定期ロールコール	
8	7	5	非常通信伝達訓練	
8	7	5	第2回役員会	
8	7	21	ガイダンス局運用 ～9/13	
8	8	1	定期ロールコール	
8	8	2	アマチュア無線イベント	蔦屋書店
8	8	26	支部報発行	
8	8	23	青少年のための科学の祭典	
8	9	5	定期ロールコール	
8	9	5	第34回支部コンテスト～6	
8	9	12	支部大会前夜祭	
8	9	13	第51回渡島檜山支部大会	北斗市農業振興センター
8	10	3	定期ロールコール	
8	10	4	第3回役員会	
8	11	7	定期ロールコール	
8	12	5	定期ロールコール	
8	12	31	年越しロールコール	
9	1	1	ZOOMを使ったモールズ講習会～3/31	
9	1	10	アマチュア無線イベント	蔦屋書店
9	1	2	定期ロールコール	
9	1	16	新年会	
9	1	16	第4回役員会	
9	2	6	定期ロールコール	
9	3	6	定期ロールコール	
9	3	21	第5回役員会	
随時			ホームページの管理	
随時			メーリングリストの管理	
随時			講習会の支援（春に四アマ、三アマ予定）	

令和 8 年 度 支 部 費 収 支 予 算 案

本部長	会計幹事
/	/

渡島檜山 支部
※入力してください。

単位:円

科	目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増 減 額	備 考
前 期 繰 越 高		注) 100,000	120,307	△ 20,307	
収 入	支 部 費	179,920	129,370	50,550	100周年で+5万円
	賞 典 収 入				
	寄 付 金 収 入	20,000	20,000	0	
	講 習 会 収 入				
	受 取 利 息	5	5	0	
	雑 収 入	10,000	10,000	0	
小 計		309,925	279,682	30,243	
支 出	会 議 費	5,000	6,000	△ 1,000	
	催 物 費	110,000	60,000	50,000	
	渉 外 費	0	0	0	
	通 信 費	30,000	38,000	△ 8,000	支部会員への行事周知
	交 通 費	0	0	0	
	消 耗 品 費	10,000	10,000	10,000	
	事 務 印 刷 費	15,000	5,000	50,000	
	コ ン テ ス ト 費	15,000	5,000	50,000	
	賞 典 費	0	0	0	
	講 習 会 費	0	0	0	
	非 常 通 信 費	5,000	5,000	0	
	諸 会 費	0	15,000	△ 15,000	
	雑 費	0	0	0	
小 計		190,000	144,000	46,000	
次 期 繰 越 高		119,925	135,682	△ 15,757	

注) 第3四半期(12月末)までの実績を考慮した上で、令和8年3月末時点での繰越金の見込金額をご記入ください。

令和 8 年 1 月 17 日

< J H 8 C B H >

JARL100 周年に係る取り組みについて

令和 8 年度予算にある通り、今年の JARL 創立 100 周年、来年の日本のアマチュア無線開始 100 年を祝して、北海道地方本部では、各支部に「令和 8 年度、9 年度の 2 年間で」ということで、一律に 5 万円の予算が使われた。

地方本部会議では、「単に会員に物を配る。」というような使い方は避けてほしいという言葉があった。

渡島檜山支部では、多くの事業を行っているが、新たな予算をどのように使っていくか、基本的な方針を立てたい。

1 つの考えは今ある行事をより充実させていく。

- ・支部大会で普段話を聞けないような講師に来ていただく。
- ・チラシなどを作り、講習会事業をより充実させていく。
- ・支部報、チラシなどを充実し、J N がなくなることを補填するための送料等に活用し、会員離れを食い止める。

2 新規の事業を起こす。

- ・支部主催の講習会を実施していく。(実施している支部もあり)
- ・学校現場や放課後学習施設などに入って、科学教室・ラジオ作りなどを行う。
- ・科学実験道具(今回の電気の散歩道)のようなものを充実させ、各種催し物に参加し、電気の面白さ、アマチュア無線の楽しさを P R する。
- ・アマチュア無線に関する看板などを作り、市中に掲示する。(3 枚の掲示板、そして以前は電光掲示板)

今すぐに決めなくていいですが、できれば、アマチュア無線の P R、新規に開局する人を発掘するような事業に使うのがいいかと思います。

令和8年1月17日

< J H 8 C B H >

コンテストについて

1 津軽海峡コンテスト

2026年5月9日(土) 18:00～10日(日) 15:00

12月17日に皆さんにご意見を伺いましたが、特にありませんでしたので、
以下のようにしたいと思います。

- ・ボーナス局については見合わせる
- ・シングルオペ、マルチオペの区分とし、個人局、社団局の区別はしない
- ・支部対抗ポイントについて、対象となる局はJARL会員で、運用した地域を管轄する支部にポイントが付与される
- ・支部対抗ポイントは順位によるポイントのほか、昨年は10局以上で交信としていた局が1ポイントとしていたが、今年は1局以上交信すれば1ポイントを付与する。

会員かどうかの判断は、ログ受領時に会員検索で調べた結果を持って判断する。

青森県支部作成の規約案を添付します。

2 支部コンテスト

2026年9月5日(土) 18:00～9月6日(日) 18:00

開始終了時刻の変更

部門・ルールは、変わらず

支部大会で前年度の入賞者を紹介する。(新規)

日程をいろいろ検討したが、最終的にはこの日程とする。

資料（４）

第24回津軽海峡コンテスト規約案

【開催日時】

2026年5月9日(土)18:00～10日(日)15:00まで

【主催】

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 青森県支部

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 渡島檜山支部

【参加資格】

日本国内で運用するアマチュア局

管内局: 渡島・檜山地域内、または青森県内で運用する局

管外局: 管内局以外の地域で運用する局

【運用場所の変更】

(管内局)

同一管内の中で移動可能

(管外局)

管内局以外の地域内の範囲で可能。

【使用周波数】

50／144／430／1200MHz帯の4バンド

・運用する周波数については、「JARL コンテスト使用周波数帯」に準ずる。

【参加部門及び種目・コードナンバー】

部門		種目		コードナンバー	
				管内局	管外局
電 信 電 話	マルチオペ	マルチバンド		AMM	KMM
	シングルオペ	マルチバンド		ASM	KSM
	シングルオペ	シングルバンド	50MHz	AS50	KS50
			144MHz	AS144	KS144
			430MHz	AS430	KS430
			1200MHz	AS1200	KS1200

※社団局・個人局という区分をシングルオペとマルチオペ(個人局、社団局のいずれも実際に運用するオペレーターが1名か複数名)かで区別します。昨年とコードナンバーが変更となっておりますので、ご注意ください。

【交信対象】

(管内局) 日本国内で運用するアマチュア局

(管外局) 青森県内及び渡島檜山地域で運用するアマチュア局

※管内局・管外局とも、同一局との複数回の交信は、同一バンドでは任意の1交信のみ得点として計上を認める。バンドが異なる場合はそれぞれのバンドで任意の1交信のみ得点計上を認める。

【交信方法】

(呼出) 電話「CQ 津軽海峡コンテスト」

電信「CQ TK TEST」

【コンテストナンバー】

(管内での運用局) RS(T)+市郡ナンバー※

(管外での運用局) RS(T)+都府県ナンバー・地域ナンバー※

※市郡ナンバー及び都府県ナンバー・地域ナンバーは別表参照のこと。青森県(02)及び渡島地域(114)、檜山地域(113)の番号はこのコンテストでは使用しない(これらの県・地域では、別に定める市・郡ナンバーを使用するため)。

【禁止事項】

- ・ゲストオペレーターによる運用
- ・個人局の2波以上の同時発射
- ・クロスバンド、クロスモード、レピーターを使用した交信
- ・社団局の同一バンド内における2波以上の同時発射、及び複数地点からの同時運用

【得点】

管内局 ① 津軽海峡を挟む渡島・檜山地域内の局と青森県内の局との交信 3点

② 同一管内局との交信 2点

③ ①及び②以外の交信 1点

管外局 ① 渡島檜山地域内の局及び青森県内の局との交信 1点

【マルチプ라이어】

管内局 : 各バンドで交信した相手局の異なる市郡・都府県・地域等の数の合計

管外局 : 各バンドで交信した相手局の異なる市郡の数

【総得点】

(各バンドで得た得点の和) × (各バンドで得たマルチプ라이어の和)

【表彰】

参加局数にかかわらず、各部門で管内局上位3位まで、管外局1位のみ表彰する。

集計の結果、同一得点の局においては、最終交信日時の早い局を上位とする。

渡島檜山支部、青森県支部対抗として、管内局の各部門でそれぞれの支部管内で運用した会員の順位によるポイント(1位:10点、2位:8点、3位:6点、4位:4点、5位:3点、以下1局以上交信してログ提出された参加局:1点)の総得点を決め、それぞれの支部大会で表彰する。

結果は、それぞれの支部のホームページ、及び JARL NEWS(入賞局)で公表する。

入賞者は青森県支部及び渡島檜山支部の支部大会にて表彰する。それ以外の方は郵送する。

【提出書類】

○紙ログ・電子ログともに受け付ける。(電子ログ推奨)

○紙ログは、JARL 制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式(A4 判)を利用すること。

○電子ログは JARL の「電子ログ作成ツール」やコンテストログソフトの電子ログ作成機能の活用を奨励(JARL 制定の電子ログ ver2.1 を推奨)。

○提出は E メール、郵送にて受付する。

① E メールでの提出

件名はコールサイン(例:JQ7ATB)とすること。提出先メールアドレスまでログデータを添付ファイルとしてではなく、本文に貼り付け送信すること。

② 郵送提出

紙ログについては全て郵送にて、青森県支部宛提出する。

○紙ログ・電子ログ共にバンド毎に集計すること。

○社団局の場合は、コンテスト中に運用した者のコールサイン・氏名・無線従事者資格を記入すること。

【締切】

2026年5月31日(日) (当日消印有効)

※E メールまたは郵送にて提出してください。

【ログ提出先】

○E メール提出の場合

log-tk2026@jarl-aomori.sakura.ne.jp

○郵送提出の場合

今年のコンテストは全て青森県支部へご提出ください。

〒031-0822 青森県八戸市大字白銀町字右新井田道 17 番地 13

岡田 竜也(JQ7ATB)

【その他】

QSL カードの発行については、同バンド、同一モード、同一運用地などの発行を控える、1 枚の QSL カードに複数の QSO を記載するなど、QSL ビューローに優しい配慮をお願いしたい。

【問い合わせ先】

各支部ホームページの「問い合わせ」または、各支部長までお問い合わせください。

(青森県支部)

U R L: <https://jarl-aomori.sakura.ne.jp/>

E メール: tk-test@jarl-aomori.sakura.ne.jp

(渡島檜山支部)

U R L: <https://ohs.hokkaido.jp/> (昨年と URL が変更になっています)

E メール: jh8cbh@jarl.com

(別表)

・市郡ナンバー (管内)

[渡島地域]	函館市 0104	北斗市 0136	
	上磯郡 01021	亀田郡 01024	茅部郡 01025
	松前郡 01067	山越郡 01071	二海郡 01079
[檜山地域]	奥尻郡 01016	久遠郡 01028	瀬棚郡 01040
	爾志郡 01053	檜山郡 01059	
[青森県]	青森市 0201	弘前市 0202	八戸市 0203
	黒石市 0204	五所川原市 0205	十和田市 0206
	三沢市 0207	むつ市 0208	つがる市 0209
	平川市 0210		
	上北郡 02001	北津軽郡 02002	三戸郡 02003
	下北郡 02004	中津軽郡 02005	西津軽郡 02006
	東津軽郡 02007	南津軽郡 02008	

・都府県・地域ナンバー (管外)

宗谷 101	留萌 102	上川 103	オホーツク 104
空知 105	石狩 106	根室 107	後志 108
十勝 109	釧路 110	日高 111	胆振 112

※札幌市内は石狩地域の区域に含まれるものとします。

岩手県 03	秋田県 04	山形県 05	宮城県 06
福島県 07	新潟県 08	長野県 09	東京都 10
神奈川県 11	千葉県 12	埼玉県 13	茨城県 14
栃木県 15	群馬県 16	山梨県 17	静岡県 18
岐阜県 19	愛知県 20	三重県 21	京都府 22
滋賀県 23	奈良県 24	大阪府 25	和歌山県 26
兵庫県 27	富山県 28	福井県 29	石川県 30
岡山県 31	島根県 32	山口県 33	鳥取県 34
広島県 35	香川県 36	徳島県 37	愛媛県 38
高知県 39	福岡県 40	佐賀県 41	長崎県 42
熊本県 43	大分県 44	宮崎県 45	鹿児島県 46
沖縄県 47			
小笠原 48			

※コンテストナンバーでは大島、三宅、八丈は東京都(10)に含まれる。

※硫黄島、沖ノ鳥島、南鳥島は小笠原の区域に含まれる。

選挙について

番号	品名	単価	個数	合計	収入	20	60,000	すしまる	55-8844	名倉1/15予約済み
1	まぐろ	100	10	1000	3000					
2	サーモン	100	10	1000	支出					
3	たまご	100	10	1000	寿司		14,946			
4	いなり	100	10	1000	おかず		15,000	イオンで (サラダ、ハム、揚げ物、刺身、ETC)		
5	かんぴょう	110	10	1100	ソフトドリンク		3,000	ノンアル多め、お茶、ジュース		
6	むしえび	110	10	1100	箸皿		1,500	一人2, 3枚当たる程度の皿、箸、ナプキン、紙コップ		
7	いか	150	10	1500	畑野商店		5,000	店から自由に買ってもらう		
8	エビマヨ	150	10	1500	会場費		4,400	昼から夜まで		
9	ほたて	160	10	1600	ごみ袋		240	40リットル80円×3袋		
10	甘エビ	150	10	1500	写真+送料		1,500	写真代 (23円×20枚) + 送料 (130円) × 何名か		
	容器	165	10	1650			45,586			
	袋	3	4	12						
			寿司	13284				支部会計へ雑収入		
			その他	1662						
				14946						
					残金		14414			
					収支					
					60000	—	45586			
							14,414			
										残金 (余裕あります)